

校長室だより 2月号

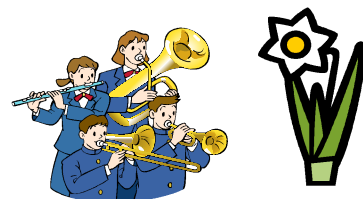
今年の立春は2月3日。これまで、2月4日が立春という年がずっと続いていましたが、今年は124年ぶりに2月3日となるようです。とても珍しい年となります。そして、立春の前日が「節分」です。最近では、恵方巻きを食べることがよく知られていますが、節分と言えばやはりオニ退治の「豆まき」でしょう。「豆まき」は、自分の中にあるオニを退治するともいわれています。子どもたちは、自分の中のどんなことを退治するのでしょうか。

学校評価アンケート、大変お世話になりました

お忙しいなか、本年度の学校評価についての保護者アンケートお世話になりました。また、貴重なご意見等をきかせていただき、ありがとうございました。アンケート結果の詳細については、後日、学校のホームページ等でお知らせしたいと思います。

全体的にみると、昨年と同じような傾向が見られ、学校の取組や教育活動に対してとても肯定的にとらえていただいております。子どもたちのようすも家庭でよく見ていただいていることがわかりました。コロナ禍のなか、子どもたちのことを考え、形を変えながら行事等を実施したことにも、励ましの言葉をいただき、わたしたち教職員は勇気づけられました。また、子どものことをもっといねいにみてほしい、人権教育がもっと行動に表れるような取組をしてほしいというご意見もあり、わたしたちの子どもへのかかわりや教育活動をもう一度見直さなければと感じました。保護者のみなさんからいただいたアンケート一つ一つを大切に、西麻植小学校、わたしたち教職員、そして何よりも子どもたちの学びや育ちをよりよくしていけるようにしたいと思います。

金管バンドミニコンサート すばらしい演奏でした！



前回もお知らせしましたが、1月27日（水）、金管バンドクラブによるミニコンサートがありました。今年は、新型コロナウイルス感染症予防対策で思うように練習ができないなか、子どもたちは7月から少しずつ練習をしていました。しかし、発表会は全て中止となり、今年度最初で最後の発表会が先日のミニコンサートでした。部員（特に6年生）にはいろいろな思いがあったと思います。それでも、短い練習期間でしたが、瀧山教諭、後藤教諭、江本教諭を中心に練習に集中し、3曲仕上げることができました。

ミニコンサート前にみんなの前で語った6年生一人一人の気持ちや思いはとても熱いものがあり、この演奏にかける意気込みも感じられました。どの演奏も聴いている人の心に響きました。特に、6年生からのプレゼント曲「茶色の小びん」は思いが伝わってきました。お忙しいなか、ミニコンサートにお越しいただいた保護者のみなさん、ありがとうございました。



